

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス二子山		
○保護者評価実施期間	令和8年 2月 1日		令和8年 2月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 5人	(回答者数)	4人
○従業者評価実施期間	令和8年 2月 1日		令和8年 2月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 6人	(回答者数)	6人
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月 15日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者とのこまめな情報伝達を心掛けており、相談内容に対してスタッフ間で話し合いを行い適切な支援を行っている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報伝達ツールを活用や会議等でこまめな支援の見直しを行っている。</li> <li>送迎時には連絡帳の内容に対する補足説明を行事で、お子様の状況を共通認識できるように努めている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>必要に応じて面談の機会を作っていくまたは連絡ツールの活用を行い、支援の向上を図る。</li> </ul>
2	柔軟に送迎対応を行っている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>送迎に関する変更点や希望に対して、迅速に職員間で共有と調節を行っている、職員間で共有を行う事で全員が統一した対応を行うことが出来るように心掛けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者様との連絡だけではなく、園や学校とも連絡を取り合い連携を深めていく。</li> </ul>
3	広い支援室で、体を動かす体験や様々な事にチャレンジできる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全にそれぞれの遊びを進める為カラーガムテープやパーテーションを使い、視覚的にわかりやすく空間を仕切る。</li> <li>スポーツをする際にルールを安全にかつ楽しめるように児童と話し合いながら室内用に変換している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き様々な遊びを取り入れられるように、場所の仕切り方や遊び方を日々、職員間で検討を行っている。</li> </ul>

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母の会等の保護者同士の交流及び地域交流が少ない	<ul style="list-style-type: none"> <li>お祭り等のイベントの策定はあったものの、実行には至っていない。</li> <li>親子体験やイベントが年に数回の頻度と機会が少なく人数に制限がある為保護者様同士の交流に至らない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、Liebe主催で地域の子どもを招待できるイベント等を、長期休暇等に設けられるか検討する。</li> <li>定期的な親子イベントを継続し、父母会等の開催を検討する。</li> </ul>
2	施設のバリアフリーが進んでいない	<ul style="list-style-type: none"> <li>手すり等の設置が少なく、お子様の身長によっては不便な箇所が見受けられる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>物の配置や代などの補助ツールを導入し、全員が便利且つ安全に過ごせる環境を整える。</li> </ul>
3	緊急時の引き渡しなど災害マニュアルに基づいた訓練に、保護者様が参加機会が少ない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者様のお仕事の兼ね合いもあり、日程調整に難がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>昨年度は、親子参観の名目で一度取り組みを行った為、今後は機会を増やしていくことで、たくさんの親御さんの参加を頂けるようにしていく。</li> </ul>